



平成18年2月28日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
 代 表 者 代表取締役社長 村田 紀敏
 問合せ責任者 取締役 氏家 忠彦
 TEL (03)6238-3000
 (コード番号 3382 東証第一部)

当期連結業績見通しについてのお知らせ

当社は会社設立(平成17年9月1日)以降、「グループ企業価値の最大化」のため、様々な経営戦略を検討・実行してまいりました。当期の業績見通しにつきましては、営業収益・営業利益・経常利益は平成17年9月1日に公表いたしました当初計画を上回るものの、経営戦略実行過程の中、一過性費用等の発生による特別損失約600億円の計上を見込んでおります。つきましては、当社の事業展開状況を明確にするため、現状の収益見通しをお知らせいたします。

記

1. 平成18年2月期連結業績見通し(平成17年3月1日～平成18年2月28日)

(単位:百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 前回発表見通し(A) (前期比) | 3,700,000 (102.1%) | 233,000 (109.9%) | 230,000 (110.4%) | 114,700 (666.7%) |
| 今回発表見通し(B) (前期比) | 3,900,000 (107.6%) | 240,000 (113.2%) | 237,000 (113.8%) | 86,000 (499.9%) |
| 増減額(B - A) | 200,000 | 7,000 | 7,000 | 28,700 |
| 増減率(%) | 5.4% | 3.0% | 3.0% | 25.0% |

注)前期比は、(株)イトーヨーカ堂の平成17年2月期連結決算に対する数値です。

2. 主な特別損失の内訳

(1) コンビニエンスストア事業

・セブニーレブン Inc.の完全子会社化に伴う費用の計上見込み額(ストックオプション消却費用、弁護士費用等)：約210億円

(2) スーパーストア事業

・(株)イトーヨーカ堂における店舗閉鎖計画等による固定資産の減損処理、及び、保証金等の貸倒引当金の計上見込み額：約290億円

・(株)イトーヨーカ堂における人事制度の見直し、及び、転職支援制度の活用等による費用の計上見込み額：約60億円

(3) 当社設立に伴う費用の計上見込み額：約40億円

3. その他

(1) 単体業績見通しについて：変更はありません。

(2) (株)ミレニアムリテイリングとの経営統合の当期連結業績への影響について

・当期は連結貸借対照表には取り込まれますが、連結損益計算書には取り込まれません。

(3) 子会社における当社株式の売却に伴い計上する特別利益について

・当社連結決算においては、特別利益は発生いたしません。

以 上